

学びを止めない －ゼロからスタートしたオンライン授業－

2020/03/26(金)

東京医療保健大学 和歌山看護学部
成人看護学(急性期)

吉田えり

COVID-19の動向 —2020年2月12日— 流行初頭

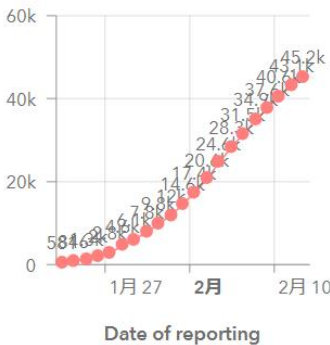
Novel coronavirus (COVID-19) situation as of 12 February 2020, 16:00 (CET)

45,174 confirmed cases
1,115 deaths
Cases from 25 countries

Cases by date of report



Cumulative confirmed cases



Countries with confirmed

China: 44730 Cases

International conveyance (Japan): 175 Cases

Singapore: 50 Cases

Thailand: 33 Cases

Japan: 28 Cases

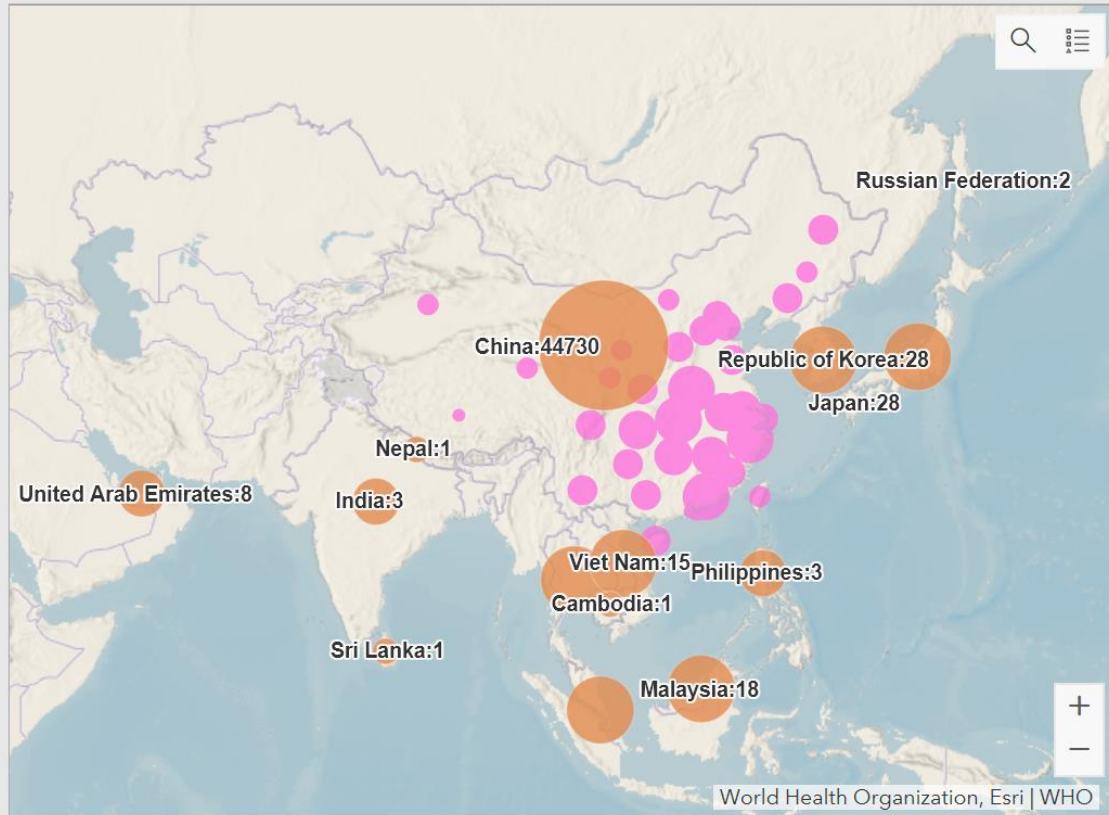
Republic of Korea: 28 Cases

Malaysia: 18 Cases

Germany: 16 Cases

Australia: 15 Cases

Viet Nam: 15 Cases



Cases by province, autonomous region and municipality

- Hubei: 33,366 cases
- Guangdong: 1,219 cases
- Henan: 1,135 cases
- Zhejiang: 1,131 cases
- Hunan: 946 cases
- Anhui: 889 cases
- Jiangxi: 844 cases
- Jiangsu: 543 cases

The boundaries and names shown and the designations used on this map do not imply the expression of any opinion whatsoever on the part of the World Health Organization concerning the legal status of any country,

Data source: WHO, National Health Commission of the People's Republic of China

WHO COVID-19ダッシュボード.ジュネーブ:世界保健機構、2020.: <https://covid19.who.int/>
(最後確認引用:[2020/02/12]).

COVID-19の動向 —2021年3月25日現在—



約1年で、この拡大・そして続く...

Covid-19 レスポンスファンド

寄付

WHOコロナウイルス(COVID-19)ダッシュボード

概要

データ テーブル

探索

コロボレ
スの地図

ハブルマ
ップ

場合

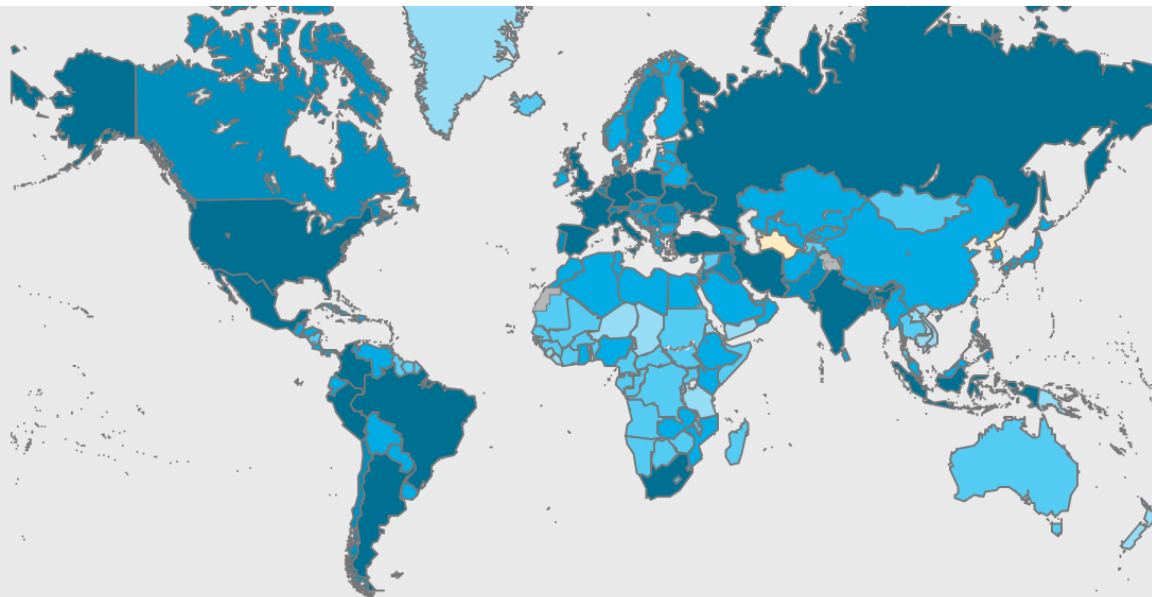
合計

461,606
新しいケース

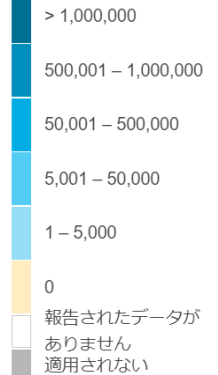
123,902,242
確認済みケース

2,727,837
死亡

431,895,992
投与されたワクチン投与量



ケース - カウント



WHO COVID-19ダッシュボード.ジュネーブ:世界保健機構、2020.オンラインで入手可能:
<https://covid19.who.int/>(最後確認引用:[2021/03/25]).

出発は、2020年3月・・・

- 2月末、感染拡大を見据えた大学の方針が提示
- 4月からのカリキュラムは予定通り実施
- 3月、教室内で複数の学生が貸与PCを使用した場合等、教務委員会の条件設定に基づき実証を重ねる
- 4月から必要とされるであろうZoomの会議システム、Google Classroom等、学部全体、あるいは領域毎に検討



Zoomって？ Google classroomって？

- 領域内で会議システムは必要と考えていた
 - 一方、Zoomそのものが分からない
 - 当時販売されていた書籍は現状のVer.とは合わない
 - Google Classroomの使い方が分からない
 - 使い方が書かれたkindle版をiPadへ
 - 書いている通りに授業運営のシミュレーションを重ねる
 - 対面で授業を実施するのが当たり前
 - 授業資料を配布するのが当たり前
 - レポートは紙媒体で提出するのが当たり前
- ⇒ 当たり前をオンラインで完結させるのは素晴らしい！

4月からオンライン授業を開始

- 学部では、ひとつの授業で教室を複数使う案もあった
- 感染拡大に伴い、初講から全てオンライン授業を開始
- 強み：貸与PCを学生全員が持っていた
- 弱み：学生の通信環境様々
- 目的・目標を達成するためにはどうすればいいのか
- 担当する科目は急性期看護援助論
(周術期にある患者の看護)・・・映像やモデルの課題
⇒理想と現実のギャップを感じながら開始

4月からの実践

- 授業の資料はZoom用にPower Pointを改訂
- 画像資料を増やす
- 別刷り資料も用意(術前～術後の回復過程)
⇒ **古典的な対応**
- 若い教員はシミュレータと連携(動きの再現)
⇒ **適応が早い!**
- 質問はチャットで全体・個別ともに対応(教員間)
- 資源の利活用は、学生・教員ともにそろわない
⇒ **大きな思い込み!**

学生・教員 既存の共通資源を活用

The screenshot shows the main dashboard of the Tokyo Healthcare University portal. The interface includes a top navigation bar with a search function, a left sidebar with various service icons, and a main content area with a grid of application tiles. Two red circles highlight the '回覧・レポート' (Review/Report) and 'アンケート' (Survey) tiles. A red arrow points from these tiles to a callout box containing the text '常に使い互いに慣れる' (Use it constantly, get used to it mutually). Below this, another red arrow points to a larger callout box with the text 'レポート提出・返却 窓口に活用' (Use for report submission and return at the window). A third red arrow points from the 'アンケート' tile to a final callout box with the text '小テスト等 定期的に活用' (Use for small tests etc. regularly). A large red arrow points from the '常に使い互いに慣れる' box to a final callout box with the text '試験に活用' (Use for exams).

共通 個人

メニュー

スケジュール 設備予約 インフォメーション 文書管理 利用者名簿 回覧・レポート 伝言・所在 ワークフロー ToDo アンケート 議事録 安否確認

アラーム メモパッド ヘルプ MS365ポータル Web版Outlook

伝言・所在(伝言一覧)

スケジュール(個人週間)

回覧・レポート

アンケート

回答が必要なアンケートはありません。

ワークフロー

承認作業が必要な申請はありません。

常に使い互いに慣れる

レポート提出・返却 窓口に活用

小テスト等 定期的に活用

試験に活用

学生が気づかせてくれたメリット・デメリット

メリットの例

- ・回を重ねて資料が少なくなった
- ・資料をデータで整理できる
- ・やることは多いが、共通資源が管理
- ・PCの扱いに慣れてきた
- ・レジュメ画面を占有できる
- ・自分の好みに室温設定ができる
- ・通学時間が学習に充てられる
- ・教科書を活用するようになった
- ・自分の机に資料や教科書等広げられる
- ・感染を気にする機会が減る

デメリットの例

- ・印刷が多い
- ・課題が多い
- ・時間割変更が多い
- ・データ量が多い
- ・接続が途切れてしまう
- ・PC操作が苦手
- ・アンケート:一度回答したら修正できない
- ・画面を見続け、目が疲れる(肩こり)
- ・友人と話せない 自分の勉強が不安
- ・部屋が映ってしまう
⇒プライバシーに係る課題

⇒ハイフレックスへ

全学連携で徐々に教育環境が整っていく

- 早期にCOVID-19対策本部を設置
 - 全学・学部教務委員会のシームレスな活動・支援
 - 図書：オンライン書籍・ライセンス数をアップ
 - ICT活用授業支援員からの旬な話題提供（40回超）
 - 「遠隔授業だより」による教育手法等、全学で共有
 - 事務部：時間割の調整・非常勤講師の対応
 - 相互連携の中で、学生も教職員も成長
 - オンラインシミュレータ・学習用電子カルテ・LMSの導入
 - 学生とともに走り、結果、DX化が進む
 - 1年の活動を活かし、HP上に学生支援動画をアップ
- ⇒ 支え：無理はしないで同じ形を目指さないこと
(熊本大学 教授：鈴木 克明先生)



- ご清聴ありがとうございます
- この機会をくださった全ての方々へ感謝申し上げます